

油津の歴史文化遺産を活用したまちづくりコーディネーター業務及び  
日南市油津別館改修設計業務受託者選定委員会（一次審査会）会議録

令和6年6月24日  
未来創生課作成

会議録（要点記録）

開催場所	日南市生涯学習センター まなびピア 2階 視聴覚室		
会議日時	令和6年6月21日（金）	時間	午後1時30分～午後5時12分
会議出席者	<p><b>1 日南市油津別館改修設計業務受託者選定委員会</b> 【委員】 宮口委員長、益田委員、細田委員、坂元委員、川原委員、木方委員、楠委員、藤本委員、長友委員、川床委員、戸村委員、鬼束委員</p> <p><b>2 油津の歴史文化遺産を活用したまちづくりコーディネーター業務受託者選定委員会</b> 【委員】 宮口委員長、益田委員、細田委員、落合委員、坂元委員、木方委員、楠委員、藤本委員、鬼束委員</p> <p>【事務局】 矢越副市長（あいさつ後他の公務により退席） （未来創生課）浜辺課長、渡辺課長補佐、山倉副主幹 （観光・クルーズ振興課）古澤課長 （生涯学習課）重永課長、平原係長 （財産マネジメント課）山口補佐</p>		
会議の次第	<p>1 開 会 2 副市長あいさつ 3 委嘱状交付 4 連絡事項 5 審査 （1）日南市油津別館改修設計業務受託者選定委員会 ① 審査、選定方法等について ② 一次審査 （2）油津の歴史文化遺産を活用したまちづくりコーディネーター業務受託者選定委員会 ① 審査、選定方法等について ② 一次審査 6 閉 会</p>		
【 内 容 】			
<p><b>1 開会（午後1時30分）</b> <b>2 副市長あいさつ</b> <b>3 委嘱状交付</b> ・委嘱状は席に事前配付。 ・委員名を読み上げ、委嘱状交付に代えた。 <b>4 連絡事項</b> ・二次審査会日程について連絡（一部の委員の都合が悪くなったため、再調整）</p>			
<次ページへ続く（1／5）>			

## 5 審査（審査は、油津別館→コーディネーターの順で実施）

### (1) 日南市油津別館改修設計業務受託者選定委員会

#### ① 審査、選定方法等について

- ・資料「日南市油津別館改修設計業務委託に係る受託候補者選定における審査、選定方法等について」に沿って説明。
- ・応募者数 1者
- ・受託候補者決定後、本会議の会議録（要点記録）の市のホームページへの掲載について説明
- ・一次審査では、事前に事務局が確認した採点結果を基に審査

#### 【主な意見・質疑等】

(委員) 配点基準について、参考としたものがあるのか。

- ⇒ (事務局) 新庁舎を建設した際の配点基準を参考。規模に応じて修正している箇所もある。  
また、今回は歴史資料館という大きな視点もあるため、その点も加味している。

(委員) 設計事務所及び担当チームの概要の「担当チームの技術職員数・資格」に記載した職員数について、複数の資格を有する場合、職員数は重複していないのか。

- ⇒ (事務局) 様式に、いずれか一つの資格の保有者を書くよう記している。

#### 【承認事項】

審査指針（案）について承認。

#### ② 一次審査

- ・資料「日南市油津別館改修設計業務プロポーザル 参加資格及び採点項目（採点表）」に沿って説明。

#### 日南市油津別館改修設計業務 申請者A社

- ・事務局による事前の確認結果について報告

#### 【審査に関する主な意見・質疑等】

(委員) 実績に記載された業務内容、例えば基本設計だけなのか、詳細設計まで行ったのかの詳細を確認したか。確認していなければ、序列に影響はないため、二次審査対象となれば、二次審査の冒頭で報告をお願いしたい。

- ⇒ (事務局) 詳細を確認し、二次審査の冒頭で説明させていただく。  
※会議終了後、詳細設計までの実績であることを確認済。

#### 【審査結果】

- ・二次審査の対象とする

## 5 審査

### (2) 油津の歴史文化遺産を活用したまちづくりコーディネーター業務受託者選定委員会

#### ① 審査、選定方法等について

- ・資料「油津の歴史文化遺産を活用したまちづくりコーディネーター業務委託に係る受託候補者選定における審査、選定方法等について」に沿って説明。
- ・応募者数 4者
- ・受託候補者決定後、本会議の会議録（要点記録）の市のホームページへの掲載について説明
- ・一次審査では、事前に事務局が確認した採点結果（選定評価基準に記した事項の記載の有無によって採点）を基に審査

#### 【主な意見・質疑等】

(委員) 実施要領で二次審査対象者を3者程度としているが、今回応募のあった4者すべてを二次審査と対象とすることもあり得るのか。

⇒ (事務局) 審査会で諮らせていただいたうえで、あり得る。

#### 【承認事項】

審査指針（案）について承認

#### ② 一次審査

- ・資料「油津の歴史文化遺産を活用したまちづくりコーディネーター業務プロポーザル 一次審査 審査項目（採点表）」に沿って説明。
- ・採点及び審査は、すべての応募者について事務局からの説明後に行う。

#### 油津の歴史文化遺産を活用したまちづくりコーディネーター業務 受付番号1番 申請者A社

- ・事務局による事前の確認結果について報告

#### 【審査に関する主な意見・質疑等】

(委員) 企画提案書にある企画の一部は、審査項目の記載に合致していると思われるものもある。

こういった場合、各委員の所感で、事務局案を修正してもよいか。

⇒ (事務局) あくまで案なので、各委員の判断で採点をお願いします。

#### 油津の歴史文化遺産を活用したまちづくりコーディネーター業務 受付番号2番 申請者B社

- ・事務局による事前の確認結果について報告

#### 【審査に関する主な意見・質疑等】

(委員) 花峯橋の利活用方法が、今回の事業において重要な項目であり、コーディネーターに求める部分と考える。コーディネーターには、市民の理解を得られる企画提案を求めたい。

**油津の歴史文化遺産を活用したまちづくりコーディネーター業務 受付番号3番 申請者C社**

・事務局による事前の確認結果について報告

**【審査に関する主な意見・質疑等】**

(委員) 応募者は九州管内で様々な実績があるようだが、県内での実績はあるか。

⇒ (事務局) 業務実績書を見ると法人として県内での実績の記載はないが、コーディネーター任命届出書によると、コーディネーター個人は日南市内でのイベントに関わりがある。

**油津の歴史文化遺産を活用したまちづくりコーディネーター業務 受付番号4番 申請者D社**

・事務局による事前の確認結果について報告

**【審査に関する主な意見・質疑等】**

特になし

**全体を通して**

**【主な意見・質疑等】**

(委員) 4者すべての提案を聞いて、審査項目の記載の有無について、内容の充実具合も大きく違うため、書類だけでは難しいので、プレゼンで4者それぞれの情熱を知りたいと強く感じた。

(委員) 業者によって得意分野が全く異なり、事務局としてどこまで求めるかが重要。単に企画提案だけでよいのか、その企画に対して運営していくまでの力を持っているのかでも大きく違う。特に花峯橋について、本格的に保存していくための企画を求めるのか、見て回れる程度でよいのか、地元の意見も踏まえて考えたい。

⇒ (他の委員の意見)

- ・地元住民の中には、橋の復原に対して疑問を持たれている方もいるので、住民の理解を得られるような形で復原し、利活用することが大事と考える。
- ・寄附者の意向でもあるため、花峯橋復原により、油津の活性化にどう繋げるかが重要。

(委員) 河野宗泰家の活用も、今回の事業の中で重要なポイントになると考えている。改めて、コーディネーターには、油津の歴史等を理解いただいたうえで、業務に臨んでほしいと思う。

(委員) コーディネーターには、各部会をリードして、それぞれの事業をトータル的にまとめ上げる役割を担ってほしいと考えている。また、民間の活用とあるが、提案して終わりなのか、運営までやってもらうのか、その点でも大きく変わると思う。

⇒ (事務局) プロポーザル実施要領、仕様書により業務内容を説明。

(委員) 限られた財源の中で、すべての事業を実施することが難しい場合、優先順位はあるのか。優先順位によっては、業者によって得意な分野があるため、選定するにあたって考慮すべき点だと考える。

⇒ (事務局) 令和6年3月に策定した「油津の歴史文化遺産を活用したまちづくり計画(以下、「まちづくり計画」という。)に記載された事業を実現するため、計画を推進するため、コーディネーターには力を発揮していただきたいと考えている。

(委員) それぞれの事業者が、提案した事業をする場合に財源をどう考えているかも重要。マーケットが成り立っていれば、放っておいても成り立つと思うが、国などの補助事業頼みでは、補助が終わった後の維持管理費まで考えないといけない。

⇒ (事務局) 提案から読み取れない場合は、二次審査時に質問で確認いただきたい。

(委員) 寄附者の想いが今回の事業のどこにあるのか、改めてお伺いしたい。

⇒ (事務局) 寄附者の想いは、花峯橋の復原と歴史資料館の整備の2点。ただ、計画としては市の人口減少対策として、花峯橋と歴史資料館を活用して、歴史文化の伝承と併せて周遊促進を図り交流人口を増やす計画となっている。

(委員) これまでの話を聞いて、判断基準の統一は難しいと感じた。それぞれの得意分野で提案をされているので、各委員の判断で審査を行うべきではないかと考える。また、花峯橋もいろいろと議論されているが、景観として高い素質がある可能性を秘めているという見方があることを認識いただきたい。

#### 【審査結果】

- ・すべての応募者について、参加資格要件適合。
- ・全ての応募者(4者)を二次審査の対象とする。

## 6 閉会(午後5時12分)